

平成30年度 校内研修（究）計画書

1 学校の教育課題

(1) 教育目標

先人の開拓精神に学び、郷土の発展に寄与する人間の育成に努める

創造力があり、未知を切り開く子ども（かしこく）

情操豊かで、意志の強い子ども（やさしく）

体が健康で、たくましい子ども（たくましく）

(2) 目標達成上の課題

（かしこく）

- ① 基礎学力と当該学年の基礎的・基本的内容の確実な定着
- ② 校内研修（究）を中核とした思考力・判断力・表現力等の育成
- ③ 学習環境づくりと学習習慣の確立

（やさしく）

- ① 道徳の時間や全教育活動等を通しての、思いやりの心の育成
- ② 基本的生活習慣の定着
- ③ 児童の成長・変容を図る工夫

（たくましく）

- ① 健康を保持増進させる態度や習慣の育成
- ② 基礎的な体力・運動能力の向上
- ③ 危機回避能力の育成と、安全行動

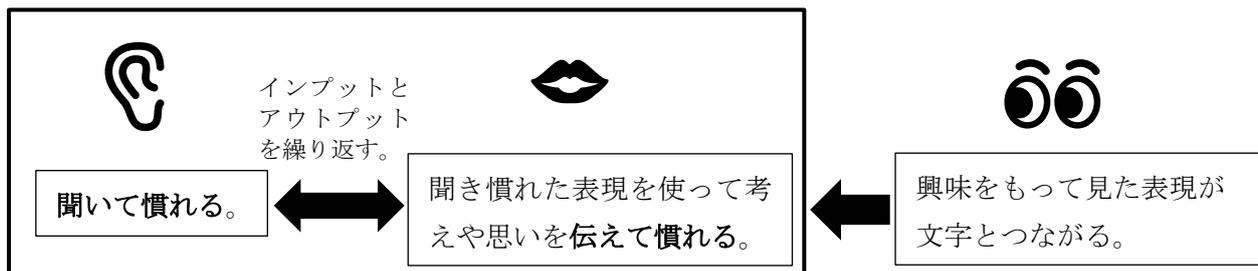
2 本年度の研究計画

(1) 研究主題

英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しむ子どもの育成
～心をつなぐ外国語活動の授業づくり～

① 「英語に慣れ親しむ」

- ・英語の表現を繰り返し**聞く**。(挨拶, 授業, 放送, CDなど)
- ・英語で自分の考えや思いを**伝える**。(挨拶, 授業, 休み時間)
- ・英語の表現に興味をもって**見る**。(教室や廊下の掲示物)



② 「コミュニケーションを楽しむ」

- ・人の考えや思いに耳を傾けて**聞く**と、新しい発見があって楽しい。
- ・自分の考えや思いが人に**伝わる**と、自分にもできたという達成感があって楽しい。
- ・人と**関わる**と、お互いの違いや良さに気付くので楽しい。

コミュニケーションを楽しむための【English class rules】

				
Eye contact 目を見て	Clear voice はっきりとした声で	Smile and try 笑顔でトライ	Reaction 反応する	Gesture 身ぶり手ぶりで

【目指す児童像】

	英語に慣れ親しむ姿	コミュニケーションを楽しむ姿
高学年	目的や場面、状況に応じて、既習事項を選択して活用する児童	目的や場面、状況に応じて、表現を考えながら、 <u>誰とでも進んで関わろうとする児童</u>
中学年	英語の表現を聞き取ったり、自分の思いを大事にして伝え合ったりする児童	相手と分かり合おうとする気持ちで、 <u>自分から相手を探して伝え合ったり、質問したり答えたりする児童</u>
低学年	体験的な活動を通して、英語表現を楽しんで聞く児童	聞かれたことに <u>進んで反応しようとする児童</u>

③ 「心をつなぐ外国語活動の授業」



(2) 主題設定の理由

① 学習指導要領との関連

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

第2章 第1節 第1 外国語活動の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

第2章 第1節 第1 外国語科の目標

平成29年7月に小学校学習指導要領が改訂された。中学年に新たに外国語活動を導入し、三つの資質・能力の下で、英語の目標として「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の三つの領域を設定し、音声面を中心とした外国語を用いたコミュニケーションを図る素地を育成する。その上で、高学年において「読むこと」、「書くこと」を加えた教科として外国語科を導入し、五つの領域の言語活動を通じて、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することとしている。

改訂前の高学年における外国語活動の目標においては、①言語や文化に関する体験的な理解、②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、③外国語への慣れ親しみの三つの事項を念頭に置いていた。今回の改訂では、上記の目標を基に、育成を目指す資質・能力の三つの柱である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」それぞれに関わる外国語特有の資質・能力を育成する必要がある、児童が物事を捉え、思考する「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせることが重要であるとされている。

外国語によるコミュニケーション能力は、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている。そこで本校では、コミュニケーションを重要視し、「英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しむ子供の育成」を主題として研究に取り組むことで、学校目標の課題解決につながると考えた。

② 児童の実態、学校や地域の課題との関連

本校の児童は、明るく素直で何事にも前向きに一生懸命取り組むことができる。また、学力向上をめざし平成20年度から始まった「学びたいム」や「家庭学習ガイド」の取組の成果として、学力検査等の分析では、全学年・全教科においてほぼ全国平均を上回っている実態がある。ただ、関心・意欲・態度に関する調査結果は全国平均より低い傾向が続いており、学習内容に興味をもち、主体的に学ぼうとする児童とともに、受け身の学び方をしている児童がいることは明らかである。さらには、相手意識をもってコミュニケーションを図ったり、互いのことを尊重しながら話し合ったりすることへの意識が希薄化していることが課題として見えてきた。特に、自分の発する言葉が相手にどのように伝わるのかということを意識せずにコミュニケーションを図り、その結果、軽率な言葉を投げかけたり、相手と意思疎通ができずにトラブルになってしまったりすることがある。そこで、外国語活動を通して言語でのコミュニケーションを図ることの楽しさや

人と関わることによる喜び、大切さに気付かせていきたいと考えた。

③ これまでの研究の成果と課題との関連

本校は、平成29年度から2年間、小・中学生英語力向上推進事業「小学校英語教育に係る実践研究校」に指定され、昨年度から外国語活動の研究を行ってきた。研究1年目でありながら、授業公開をした第5、6学年の児童の姿は、研究主題の「英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しむ子供」そのものであり、本校が目指す「心をつなぐ」授業を上北管内の先生方に提案することができた。また、英語の歌、リアクション一覧、Today's Englishなど、学級や学年で取り組むことのできる英語の資料や掲示物等の環境を整備したことも、大きな成果となった。研究が進むにつれ、初めは英語に対する苦手意識のあった先生も英語で挨拶をしたり、コメントに英語の表現を使用したりするなど、教師も一緒に学ぶ姿勢を見せることができた。

その一方で、学級担任が授業を行うための英語指導力や英語の発音への不安は払拭できなかった。そこで、今年度は、教師がコミュニケーションを楽しむモデルとして自信をもって授業に臨めるよう、クラスルームイングリッシュを整えていく。そしてコミュニケーション活動の際には、英語を聞き取ることができずに悩んでいる児童もいると思われるので、全員が英語に慣れ親しめるような授業を実践し、児童がもっと話したい、もっと知りたいと自ら考えて発表する授業を目指していきたい。

(3) 研究目標

コミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を養うためには、学習活動の工夫が有効であることを、外国語活動の授業実践を通して明らかにする。

(4) 研究仮説

仮説1

「聞く」「話す」必然性のある場面を設定し、「誰に」「何のために」伝えるかを明確にすれば、積極的にコミュニケーションを図ろうとするであろう。

仮説2

児童自らが選択した表現を使って、友達や先生、ALTに伝える場を工夫すれば、英語に慣れ親しむであろう。

(5) 仮説の検証に向けて

【検証方法】

- ① 振り返りカードから、児童の慣れ親しみに対する自己評価やコミュニケーションへの関心・意欲・態度の変化を分析する。
- ② 学習に関するアンケート（児童に対して年2回）

(6) 研究日程

	月 日	内 容	方法	教科 領域	要請指導主事等
1	4月13日 (金)	前年度の研究の概要説明と今年度の研究の方向性確認	全体 協議	外国語 活動	
2	4月26日 (木)	研究主題・目標・仮説・検証方法・研究日程について	全体 協議	外国語 活動	
3	5月10日 (木)	校内研修計画書の最終確認, 指導案の様式, 新教材について	全体 協議	外国語 活動	
4	5月16日 (水)	4学年研究授業 授業者 宮本小百合	全体 協議	外国語 活動	上北教育事務所 指導主事 金澤 希代子
5	6月7日 (木)	英語指導力向上のための実技研修	全体	外国語 活動	研修部
6	6月19日 (火)	5学年研究授業 授業者 諏訪はるか	全体 協議	外国語 活動	上北教育事務所 指導主事 金澤 希代子
7	7月5日 (木)	指導案検討	ブロック	外国語 活動	
夏季休業中		指導案検討・作成			
	7月30日 (月)	4・5学年指導案検討会 (2・4・5年)	ブロック	外国語 活動	上北教育事務所 指導主事 金澤 希代子
	8月10日 (金)	3・6学年指導案検討会 (1・3・6年)	ブロック	外国語 活動	十和田市教育委員会 指導主事 船水 純子
8	8月29日 (水)	6学年研究授業 授業者 木津明子	全体 協議	外国語 活動	十和田市教育委員会 指導主事 船水 純子
9	9月3日 (月)	3学年研究授業 授業者 伊藤理子	全体 協議	外国語 活動	十和田市教育委員会 指導主事 船水 純子
10	9月27日 (木)	実践研究公開研究発表会打合せ	全体 協議	外国語 活動	
11	10月4日 (木)	公開授業準備①	ブロック	外国語 活動	
12	10月11日 (木)	公開授業準備②	全体	外国語 活動	
13	10月19日 (金)	公開研究発表会準備	全体	外国語 活動	
14	10月31日 (水)	「小学校英語教育に係る実践研究」公開研究発表会 3学年授業者 伊藤理子 4学年授業者 須郷夏絵	ブロック	外国語 活動	十和田市教育委員会 指導主事 船水 純子 上北教育事務所 指導主事 金澤 希代子

		5 学年授業者 佐々木 千賀子 6 学年授業者 木 津 明 子			
15	11 月 16 日 (金)	公開研究発表会の反省 (成果と課題)	全体 協議	外国語 活動	
16	1 月 17 日 (木)	今年度の研究の反省 (成果と課題)	全体 協議	外国語 活動	
17	2 月 15 日 (金)	今年度の研究のまとめ 次年度の研究の方向付け①	全体 協議	外国語 活動	
18	3 月 8 日 (金)	次年度の研究の方向付け②	全体 協議	外国語 活動	

3 研修計画

(1) 研修の重点

- ① 教育活動をより良いものにできるような専門的な知識や技能を身に付ける。
- ② 先進的な研究に取り組んでいる学校の情報を，全教職員で共有する。

(2) 研修日程

	月日	内 容	方法	教科 領域	要請指導主事等
1	8 月 20 日 (月)	一般研修① 「特別の教科 道徳」について	全体 講義	道徳	上北教育事務所 指導主事 原田 英治
2	11 月中旬	1 学年研究授業 授業者 齋 藤 友 子	全体 協議	国語	
3	12 月 6 日 (木)	2 学年研究授業 授業者 赤 坂 彩 子	全体 協議	道徳	
4	1 月 11 日 (金)	一般研修② 体育実技研修	講義 実技	体育	本校教諭 奈良 琢磨
5	3 月 8 日 (金)	各種研修会等報告会	報告	各教科	報告者：3 月までの県外研 修の派遣者

本主題での研究 2 年目		研究教科等	外国語活動
研修主任	宮本 小百合	研究指定の 有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 小中学生英語力向上推進事業 小学校英語教育に係る実践研究校公開研究発表会 指定期間 平成 29 年度～平成 30 年度